# 第11回癌・炎症と抗酸化研究会 (CIA 研究会)

# スポンサードセミナー

開催日時 2021年11月 27日(土) 14:10~15:00

会場 Web開催

司 会

大分大学医学部 消化器·小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

### 演 者①

乳癌周術期化学療法における化学療法誘発性脱毛 (CIA: Chemotherapy induced alopecia) 予防への取り組み

昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学部門 助教

垂野 香苗 先生

### 演 者②

がん患者ルックス支援の取り組み 一抗癌剤脱毛予防開発プロジェクト—

大分大学医学部 消化器・小児外科学講座 高度救命救急センター 助教 河野 洋平 先生



### 司 会

大分大学医学部 消化器·小児外科学講座 教授

## 猪股 雅史 先生

### 略歴等

### 【医師免許等】

1988年取得

### 【職 歴】

1988年 3月 大分医科大学医学部卒業

1988年 6月 大分医科大学大学医学部附属病院外科第一

(研修医)

1990年 4月 国立病院九州がんセンター 乳腺科

1994年 5月 国立がんセンター研究所 病理部

1997年 3月 大分医科大学大学院博士課程修了

2003年 4月 大分大学医学部総合外科学第一 講師

2010年 4月 同 准教授

2014年10月 大分大学医学部消化器·小児外科学講座 教授

2020年 4月 同 附属病院副院長、

卒後臨床研修センター長兼任

### 【主な学会活動】

日本外科学会:指導医·専門医·代議員

日本消化器外科学会:指導医·専門医·評議員·理事

日本癌治療学会:評議員 米国臨床腫瘍学会(ASCO)

### 【主な受賞歴】

2011年 OOTR、Best Presentation Award (香港)

2012年 日本臨床毛髪学会、平山賞受賞(東京)

2014年 世界内視鏡外科学会、Best Presentation Award

(パリ)

2015年 JCOG下山賞受賞(東京)

### 【特 許】

がん化学療法誘発脱毛に対する抗脱毛用組成物:公開番号

2012-62283

粘膜挙上剤:公開番号2014-188054

人工知能搭載内視鏡システム:出願番号2018-044121

### 【モットー】

すべては目の前の患者と未来の医療のために!

### 【好きな言葉】

ピンチはチャンス! チャンスはさらにチャンス!

### 【趣味】

温泉マイスター 田舎道のドライブ

MEMO		

### 演者①

昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学部門 助教

# 垂野 香苗 先生

## ▶乳癌周術期化学療法における化学療法誘発性脱毛 (CIA: Chemotherapy induced alopecia) 予防への取り組み

化学療法誘発性脱毛(CIA)は、患者にとって心理的苦痛が大きく、生命や日常活動には直接は影響しないが、医療従事者が考える以上に患者には重大な副作用である。中でも乳癌周術期標準化学療法では100%の脱毛をもたらし、乳癌患者の心理的負担により治療選択にも影響する因子である。また、化学療法施行中のみではなく、その後も再発毛し、治療前の状態に戻るまでは、時間を要し、英国での報告でタキサン系薬剤を使用した患者の10.1-23.3%患者で化学療法誘発性永久脱毛 (pCIA: permanent CIA)となるという報告もあり、治療中のみならず、その後の長期のQOLにも大きく影響する副作用である。

頭皮表面を冷却し化学療法時の頭皮血流を低下させることで、化学療法に伴う脱毛を抑制することを目的とした装置 (Paxman scalp cooling system) による脱毛抑制効果が報告され、日本国内で2019年3月に医療機器として承認された。当院にて頭皮冷却装置を乳癌周術期化学療法時に使用した症例の報告をする。頭皮冷却装置と αリポ酸誘導体含有ローションの併用による相乗効果も期待され、当院における両者使用症例の報告とともに、今後の展望に関して紹介する。

### 略歷等

### 【略歴】

2003年3月 琉球大学医学部医学科卒業

2003年4月 沖縄県立中部病院 研修医

2005年4月 沖縄県立中部病院 外科後期研修医

2008年4月 沖縄県立八重山病院 外科医員

2010年4月 国立がん研究センター中央病院

外科レジデント

2013年4月 国立がん研究センター中央病院乳腺外科

がん専門修練医

2015年4月 昭和大学外科学講座乳腺外科部門入局 乳癌診療、手術、薬物療法に従事

### 【資格】

医学博士、外科専門医・指導医、乳腺専門医、遺伝性腫瘍専門医、 がん治療認定医、マンモグラフィ読影医、臨床研修指導

N /	П	Ν/	
IV	ш	IVI	



### 演 者 ②

大分大学医学部 消化器・小児外科学講座 高度救命救急センター 助教

## 河野 洋平 先生

## ▶がん患者ルックス支援の取り組み 一抗癌剤脱毛予防開発プロジェクト─

### 【はじめに】

がんに対する手術、化学療法、放射線治療などの治療によって生じる脱毛、皮膚炎、創傷など外見変化はがん 患者にとって精神面やQOLへの影響が大きい。近年、外見の症状に対するケア(ルックスケア)が重視される ようになり、現状と課題が明らかになりつつある。なかでも抗癌剤脱毛は、乳癌をはじめとした様々な領域の悪 性疾患に対する化学療法において高頻度に発症する副作用であるが、いまだ十分な対策はない。産学連携研 究開発プロジェクトとして、我々はこれまで抗癌剤脱毛対策に取り組んでおり、プロジェクト内容を紹介する。

### 【プロジェクト研究内容】

1. 抗癌剤脱毛のメカニズムを解明する基礎研究

シクロフォスファミドを用いた抗がん剤誘発脱毛動物モデルの毛包周囲環境変化を病理組織学的に検討し、 毛包周囲の血管透過性亢進が抗癌剤脱毛病態の一要素であることを明らかにした。

2. 抗酸化物質αリポ酸誘導体を用いた脱毛予防法の研究開発

抗癌剤シタラビンを用いた脱毛モデルに対して、空気中でも安定した強力な抗酸化力を有し、外用剤として適した $\alpha$ リポ酸誘導体の経皮投与を行った。 $1\%\alpha$ リポ酸誘導体投与により脱毛が抑制され、病理組織学的検討において炎症細胞浸潤および毛根・毛幹の破壊が軽減された。

3. 抗癌剤脱毛に対するαリポ酸誘導体の効果を検討する臨床研究

術後補助化学療法施行乳癌患者100名を対象とした多施設共同研究にて頭皮へαリポ酸誘導体含有ローション塗布を行い、効果を検討した。脱毛予防効果まで示すことはできなかったものの、脱毛期間が短縮する効果を示した。

4. 毛髪関連のリーディングカンパニーとの産学連携共同プロジェクトを経て、抗がん剤脱毛研究に基づく $\alpha$ リポ酸誘導体含有スカルプローションの製品化に至った。

### 【抗がん剤脱毛予防の取り組みにおける今後の展望】

本プロジェクトではαリポ酸誘導体の消化器癌患者への応用や、頭皮冷却との併用など、さらなる研究が進んでいる。がん患者の外見問題に対する姿勢は近年、大きく変化しており、ますます患者のQOL向上を目指した研究開発の活性化が望まれる。

### 略歴等

【略歴】

2001年3月 大分医科大学医学部卒業

2001年5月 大分医科大学外科第一(研修医)

2007年5月 大分大学医学部 消化器・小児外科 医員

2012年3月 大分大学医学部 博士課程 修了 2016年4月 豊後大野市民病院 外科部長

2017年4月 大分大学医学部 消化器·小児外科

高度救命救急センター 助教

2018年1月 米国Weill Cornell Medicine Visiting Fellow

2019年8月 大分大学医学部 消化器·小児外科

高度救命救急センター 助教

消化器外科、消化器癌診療・研究に従事

【資格】

医学博士、外科学会専門医·指導医、消化器外科学会専門医·

指導医、がん治療認定医

